

東京エリア Debian 勉強会 資料

上川 純一 dancer@debian.org
IRC nick: dancerj

2006 年 12 月 16 日

本日の agenda

- 注意事項
 - 飲食禁止
 - 政治/宗教/営利活動禁止
- 最近事情
- 事前課題紹介
- quiz
- Bug Squashing Party
について
- 来年の Debian 勉強
会を設計する

最近の Debian 関連ミーティング報告

- Debian 勉強会
- 関西オープンソース

10月のDebian勉強会のagenda

- 注意事項
 - 飲食禁止
 - 政治/宗教/営利活動禁止
- 最近事情
- 事前課題紹介
- quiz
- スペイン参加報告
- flash ねた
- apt チューニングねた

KOF Debian BOF のアジェンダ

- 講師

- 上川
Debian JP 会長
- 岩松
Debian JP 副会長
- やまね
po-debconf 翻訳
職人

- Debian 紹介
- Debian JP 紹介
- エッチについて
- Debconf in Japan 進
捗報告




関西開催勉強会アジェンダ

- 今日の講師
- 上川
Debian JP 会長
- 岩松
Debian JP 副会長
- 14:00-14:20 最近の Debian 勉強会の紹介
- 14:20-15:00 事前課題紹介
- 15:00-15:10 sid を日常環境として使うための注意, 上川
- 15:10-15:20 bugreport 論, 上川
- 15:30-16:00 パッケージングについて, 岩松
- 16:00-16:40 質問コーナー, 各位
- 17:00-18:00 京橋に移動
- 18:00-20:00 宴会







今回の事前課題は「来年の Debian 勉強会でやりたいこと」もしくは「来年の Debian 勉強会のスタイルを提案する」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

小林儀匡さん

『来年の Debian 勉強会のスタイルを提案する』

Debian 勉強会もついに2歳を迎え、パッケージ作成作業に関連する各種ツールの使い方・Debian Policy Manualの内容・翻訳作業などといった、開発者への入口となる情報を提供するテーマは一通り扱ったと思います。それらの内容に大きな変化があったらそれは更新する必要がありますし、まだ触れられていないツールについても扱う必要があると思いますが、開発者への入口をまとめたドキュメントの提供という当初の大きな目的の一つは大方達成されたのではないのでしょうか。

このような状況を鑑みると、これからは、「現在の Debian GNU/Linux システムに存在する問題点を何かしら見つけて、それについてグループディスカッションのようなかたちで掘り下げ、今後の開発作業に繋げてみる」という問題発見型の勉強会も必要になるのではないかと思います。これまでも飲み会で「あれはどうかならないか」と議論になったり、ネットワークの設定についての課題への回答を巡って議論になったりしましたが、このような議論をきちんとしたかたちでやってみる、ということです。理想的には (かなり大きな理想ですが)、本勉強会で議論したことを Debian 本家のメーリングリストに英語で流して、それを元に何かを生み出せればとても素敵だと思います。

もちろん、これを毎月行うのはやや負担が大きく、実際の作業がなかなか進まないままネタ切れというのがオチになる可能性もあるので、これまでのように、会議の報告や「Debian でこんなことをしてみた」というネタ的な話、開発関連ツールではないがまとめておくと有用な事項 (glibc・Flash・マルチメディア関連・.....) のまとめなども混ぜていく必要があるかと思いますが.....。
ネタがなくなって勉強会自体がマンネリ化しただらだら続くことのないよう、自分ももう少し提供できるネタがないか考え、そして実際に提供しながら臨みたいと思う 2006 年冬です。

前田さん

お題「来年の Debian 勉強会のスタイルを提案する」として、ワークショップ形式で議論するのが良いですね。他の参加者の方と（宴会以外で）話す機会も増えますので。って、今回はもろにそういう形式のようですね。失礼しました。

あとは、ハンズオンとか。帰宅後に資料を見てやるのも良いのですが、宴会の後、帰宅したら寝てしまうので、やはりその場で手を動かす方がより効果が高いかと。（次の日だと忘れるか、覚えていてもやらない、という事もままあるので...）

澤田さん

スタイルの提案で書きます。「`/etc/network/interfaces` をさらしてください」という事前課題はいろいろバッドノウハウが出て盛り上がったこととされます（諸事情により参加しませんでした）。

そこで今後も、ある事項について、「私はこうやっています」という事前課題を書いてもらい、バッドノウハウとしてまとめるというのはどうでしょうか？例えば、「`apt-get upgrade` したらパッケージが壊れていてアップグレードが完了しない。怒りの BTS は当然投げるとして、とりあえずどう対処する？」とか、「バックアップ、何使ってますか？何バックアップしてありますか？」（「バックアップ Debian」でググるとやまねさんの過去の投稿がありますね）とか、知っている人は知っているというバッドノウハウが多いと思います。

小室 文さん

「来年の Debian 勉強会でやりたいこと」勉強会でやりたい事ではないですが、女の子の参加者がもっと増えるように地道な活動？をしようと決めてます。いないはずはないので、勉強会に来てもらえるようにいろんな所で探したいと思います。

「来年の Debian 勉強会のスタイルを提案する」継続して多くの人が参加しないのは、参加者のレベルに（しょうがない事ですが）バラツキがある為だと思います。ちょっと分からない単語や内容を後で調べてみよう、というレベルの開きではなくて、何の事かすら分からない事が時々あります（特にカーネル関係は難しい...）。debian 勉強会 + 初級・中級者向け勉強会があったら、利用者も増えて階段を上る感じでいいかもしれません。（有志なので難しいとは思いますが。。）

キタハラさん

現在の Debian 勉強会のスタイルに不満点は無いのですが…
最近、初心者向けの某勉強会で輪読していて、20年前の学生時代の雰囲気堪能して来ました。
輪読は、対象となる資料を「事前に読んで」おき、その時に理解できなかった所や疑問に思った所を、当日「有識者と共に」ディスカッションする事により、「他の参加者の視点」と共に対象の事柄を「より深く理解」できるという利点があると思います。
現在の Debian 勉強会で輪読を行うのは、少々無理があるかもしれませんが（別枠で初心者向け『徹底入門第4版 ~etch対応（仮？）』の輪読（読書会）があったら参加したいなあ～）、適当な長さの資料を事前に読んでおき、当日参加者が順番に読んで、疑問点や注意点を話し合うコーナーを作るといった形ならば、実現可能かもしれません。

青木さん

「来年の Debian 勉強会でやりたいこと」というお題をいただきましたのでおひとつ話させていただきます。

今まで Debian 勉強会に関して開催形態（課題があること）に減らず口を叩いた以外出席すらしてきていない私が Debian 勉強会で何をするかを語るのもチョット変な気がします。

でもソフト関係で食ってるわけでもないわたしが今まで DEBIAN でいろいろしてきた経験を、長く終わりの見えない NM プロセスに取り組もうとされている方々と共有する機会がもてればいいのかと考えています。

それに DEBIAN は英語でのコミュニケーションが DD として続く必須条件という状況もあります。これって多くの日本人にとって結構気の重いものでは無いでしょうか？

これらの障害のある DEBIAN ですが、だからこそ日本人が参加し、日本語環境を世界中どこにいても誰でも使えるようにしようではありませんか?いま日本語環境をサポートしているひとは少ないので、是非協力してくれるひとを見付けたいものです。それから、内容が古くなったのが否めない DEBIAN REFERENCE をもう少しバージョンアップに影響されないようにしたかたちにする、そして XML に変更する作業をどなたか見付けられないかなという勝手な期待もあります。

上川

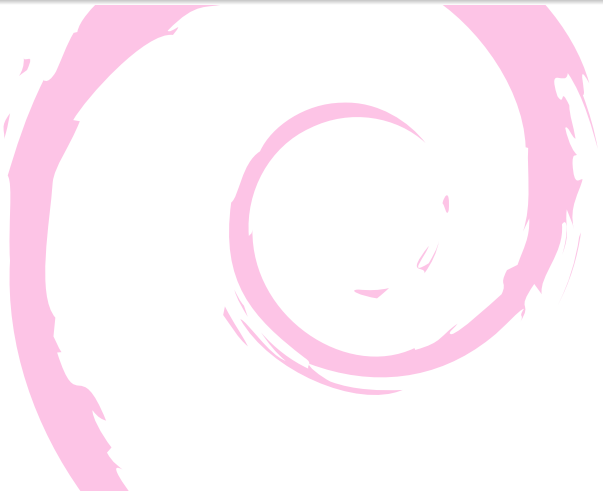
勉強会のスタイルは、理由があっあってこうなっている部分もありますが、最初にこうしたからこうなっている、ということで特に理由があっあって決まっていけない部分もあります。たまにはそういう部分に変化を加えていかないと、マンネリになってしまい、飽きてくるので、変化させることは重要だと思っています。是非みなさまのアイデアを活用して何か違う形を採り入れたいとおもっております。

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/41/> にある 11 月
28 日版です。



問題 1. Debian Conference 7 日程が決まりました。いつからでしょうか。

- A 4/1
- B 5/22
- C 6/17



問題 1. Debian Conference 7 日程が決まりました。いつからでしょうか。

- A 4/1
- B 5/22
- C 6/17

答えは:

C

問題 2. Debian Project に新しい開発用マシンが導入されました。どのマシンでしょうか。

- A Sun Fire T2000
- B Sony Playstation 3
- C TiVo Series2 DVR

問題 2. Debian Project に新しい開発用マシンが導入されました。どのマシンでしょうか。

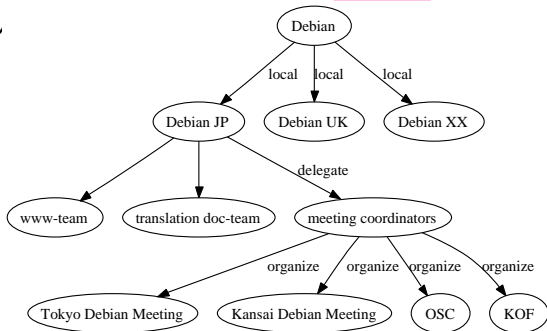
- A Sun Fire T2000
- B Sony Playstation 3
- C TiVo Series2 DVR

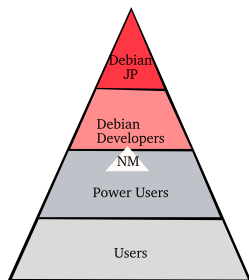
答えは:

A

Debian JP と Debian 勉強会

個、





- Debian 勉強会では、Power Users から NM / DD への道を

新規の参加者

- 2005 年 1 月: 20 人
- 2005 年 2 月: 6 人
- 2005 年のこり: 12 人
- 2006 年 -6 月: 9 人
- 2006 年 -10 月: 14 人

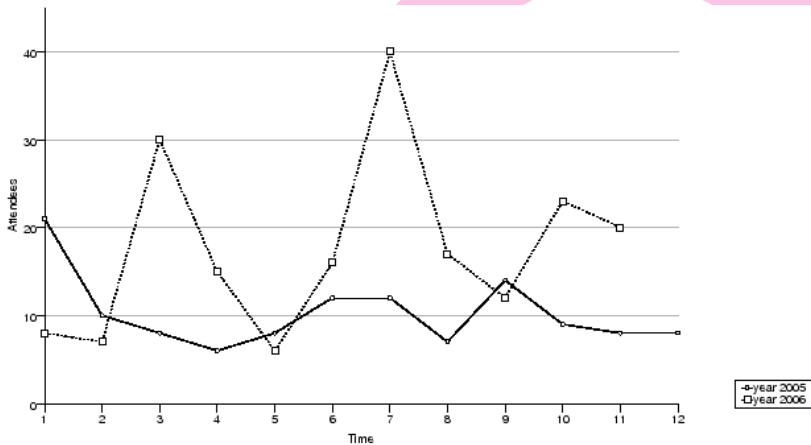
新規に参加して二度以上参加してくれた参加者の数

- 2005 年 : 39 人中 21 人
- 2006 年上半期 (-6 月) : 9 人中 5 人
- 2006 年下半期 (-10 月) : 14 人中 2 人

Debian Developer 比率

- 2005 年 : 39 人中 DD 4 人? NM 3 人
- 2006 年 -10 月 : 36 人中 DD 6 人 NM 6 人

参加人数




2005 年

	参加人数
2005 年 1 月	21
2005 年 2 月	10
2005 年 3 月	8
2005 年 4 月	6
2005 年 5 月	8
2005 年 6 月	12
2005 年 7 月	12
2005 年 8 月	7
2005 年 9 月	14
2005 年 10 月	9
2005 年 11 月	8
2005 年 12 月	8

2006 年

	参加人数	
2006 年 1 月	8	policy, Debian 勉強会でやりたいこと
2006 年 2 月	7	policy, multimedia
2006 年 3 月	30	OSC: debian 勉強会, sid
2006 年 4 月	15	policy, latex
2006 年 5 月	6	mexico
2006 年 6 月	16	debconf, cowdancer
2006 年 7 月	40	OSC-Do: MacBook Debian
2006 年 8 月	17	13 執念
2006 年 9 月	12	翻訳、Debian-specific、oprofile
2006 年 10 月	23	network, i18n 会議、Flash、apt
2006 年 11 月	20	関西: bug, sid, packaging
2006 年 12 月	14	忘年会

じゃあ来年どうしようか?



今後のイベント

- Debian 勉強会開催
- Debian Conference 2007 Edinburgh 2007 年 6 月
- Debian 14 周年 2007 年 8 月 16 日
- Debian 15 周年 2008 年 8 月 16 日

宴会会場

- 会場: 荻窪 卯 (うさぎ)
- 時間: 21:30-
- 集合場所: この建物 1F のところ
- 注意事項
 - 終電の時間をちゃんとしらべていきましょう

今日のまとめ

- まとめ

